

12  
月号

第466号

# いっしん

令和5年(2023年)

ことごとくに  
なめてこそ知れ  
もののお味  
わたり行く世も  
かくぞとぞ思ふ

甘木親教会  
初代教会長  
安武松太郎師御致

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市  
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL/FAX 0995-62-2895  
Mアドレス hittobe.konkaji@gmail.com (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/《HPの「いっしん」はカラーで見れます》

教祖様140年／四神様130年／三代金光様60年／小倉教会布教138年／甘木親教会布教119年／  
加治木教会布教72年



8/27  
「夏の集い」で  
桜島大根の  
種まきと  
ジャガイモの  
植付け



桜島大根の苗 11月20日頃

## 「夏の集い」でタネをまき 桜島大根成長中 (上荒田教会農園)

猛暑と言われた夏休み終盤に開かれた「夏の集い」で、桜島大根の種まきと、ジャガイモの植え付けを行いました(ほか夏野菜の収穫と木工工作も)、十一月二十日頃には写真のように桜島大根の苗が大きく育っています。

葉っぱを広げた直径は、一メートルほどにまで育っています。  
来年の二月頃には、大根が直径二十cmから三十cmほどの大きさにまで育ちます。

ジャガイモも大きく育っており、十一月二十二日に仕えられた、加治木教会の立教記念祭並びに新穀感謝祭の野菜としてお供えされています。

大きく育つのも、休みなくお働きくださる天地の豊かなお恵みと、心掛けて畑の手入れをされる皆さんのおかげです・・・。

加治木教会

教祖百四十年

# 生神金光大神御大祭

仕えられる

菊薫る十一月五日(日) 加治木教会では、教祖百四十年 生神金光大神御大祭が仕えられました。

十一月に入ったものの、この日は二十度を超え暖かく清々しい秋日和となり、隣接の教会からも先生方がおみえになられ四名の先生方ご参列になられてご祭典が仕えられました。

ご祭典後、立教神伝奉読に続いて、少年少女会の「チャレンジカード」(五月から七月にかけて親子で取り組んだ少年少女会連合本部推奨の信行カード)の表彰がありました。

ご教話は、安武光太郎先生(人吉教会長)でした。

「令和二年豪雨」からの復興について、人吉布教にご家族でお取り組みになられて今年で十一年となりますが、その教会御用の中での被災経験と、教会建物の修復・再建などについてお話し下さいました。



信徒総代



ご祭典の玉串奉奠も、信徒総代・青年会・若婦人会・少年少女会(他の会も)それぞれ御礼の真心を込めて御用ができました。



各会代表玉串奉奠



若婦人会



青年会



少年少女会

御大祭前日は、信奉者一同で清掃御用が奉仕され、御大祭をお迎えさせていただきました。

また、御大祭前の、十月十五日から三十日までの二週間「御大祭奉迎信行期間」を設けて、朝御祈念時に「金光教教典」を拝読して勉強会をさせていただきました。

\*

「ご教話で、安武光太郎先生（人吉教会長）は、

「令和二年七月豪雨では、お練り合わせ・お祈りを頂き、球磨川の水が氾濫し始める中に家族皆、車も無事に避難することができ、その後、泥だらけとなった教会広前・教職舎・境内の泥出しや改修工事に、全国各地の先生方・信徒の皆さんの思いも及ばないほどの、お祈りと支援活動・御用を頂き、教会建物の復興ができて行きました。会堂広前の改修前に、雨漏りをする会堂の屋根の修理の必要がありました。しかし、その屋根の改修費は、私が他職に就いて働いてお供えさせていただいて返済する以外に道がありません。長年にわたる豪雨災害からの復興に取り組み

ていただいている最中です。他職に就いてみると、やはりこのお道の信心がないと立ち行くことができない世の中であること感じます。」とお話し下さいました。



### チャレンジカードの表彰

\*

「ご祭典後の、立教神伝奉読に続いて、少年少女会「チャレンジカード」に取り組んだ少年少女会員の表彰がありました。

今年も七人の少年少女会員が、全国大会前の約三か月間、家族で信心の成長の祈りが込められた取り組みにチャレンジできました。



少年少女会連合本部から贈られた表彰状・記念品と加治木教会少年少女会からの記念品の授与

# 「私の助かり」

## 内門三朗氏 講話 ㊦

連合会信徒部会長（鹿児島教会）  
 令和五年六月二十五日（会場：上野田教会堂）  
 教祖百四十年記念 中部・南薩地区合同地区集会講話

### ▼脳動脈瘤に▲

ちよつと今から十一年前、私は脳動脈瘤を患いました。

五十八才の時に脳ドックを受けまして、その時に中央より少し右側ですが、脳動脈瘤というのが見つかりました。

百人に一人はくも膜下出血で倒れるというようなことでありましたが、気をつけていました。

何故かと言いますと、父も脳溢血でしたが、だいたい父方の方は、昔でいう血の病です。

脳の血管の病気で、半身不随にな

ったりとかしてしました。

ちよつと



内門三朗氏

脳動脈瘤が見つかった頃のことですが、金光教南九州教務センターから連絡がありまして、その年の八月の教区の輔教集会で発表を担当することを伝えて来られました。

六月二十八日に次男の結婚式が終わってから入院しまして、七月二日に手術というようなことでした。そしてその翌月の八月に発表なのです。

鹿児島教会の四代の照真先生も喉頭癌をされまして、その時に御本部からお話の御用が入ってきて「喉頭癌の宣告を受けただけでも私は大丈夫、御本部からお話の御用を頂いたから、喉頭癌は喉で、喋るためには一番の要のところなので、私は大丈夫、神様が御用をさせて頂さるこのことだからおかげ頂く」というようなことを申しておられましたので

「私もお話の御用で、神様から頂いた御用だから、必ずお繰り合わせのおかけを頂かせて下さる」と思い、御用を受けさせていただきました。手術は朝九時から七時間ほどかかったそうです。

手術が終わわり、集中治療室に入らせていただきましたが、横の人たちが

はワーワーうわ言を言ったり、ずっとボタンを押し続けている人ばかりで「すごいところに来たな」と夢心地に思っていました。

そうしているところに、家族が入ってきて「大丈夫ね？」と聞いていました。

開口一番「手術が終わったことを役所に電話してくれ」と言ったそうです。

「そんなこと言ったかな」と思いましたが、後から聞いたらそんなことでした。

家族皆で、神様に「大難を小難に小難を無難にお祭り替えいただくように」とお願いして祈ってくれていたそうです。

長男と長男の嫁とかも一緒に「あの時はお母さんは真剣だったんだよ、神様にずっとお願いしていたんだよ」というようなことを聞かされまして「心配をかけたな、自分なりに大丈夫と思っていたも、やはりお祈りしてくれていたんだな、有り難いことだったな」と思ったようです。

「問題はお差し向けの御用」とい

うような教えを頂いておりましたので、入院するとまずへ病院の先生方の御用成就、それから入院患者さん方の元気回復を、と、お祈りさせていただいておりました。

去年十年が経ちましたので、診察を受けましたら「他の所にできていくということもありません、ご安心ください」というようなお墨付きをもらったようなことでした。

▼三代続く信心を目標に▲

いろんなことを申し上げましたが、たくさんの教会との接点があつて、礼子さんと出会い、結婚して二人となり、子供が三人生まれて五人となり、さらに、その三人が可愛い可愛いお嫁さんを三人連れてきて八人となり、今度はまた可愛い可愛い孫が五人生まれて十三人の家族となりました。

両親が亡くなって、兄が亡くなって、天涯孤独といえはそう言っているくらいでしたが、子供を授かり孫を授かりしてへ神様から代まさりの家系を作っていただいていいるな、と思わせていただいているところであ

ります。

礼子さんは三井教会からの続きで、信心は四代目となりますが、内門家の私は初代です。



上荒田教会 (中部・南薩合同地区集会) 6/25

これが子供たち孫たちに続いて行き、先ず三代続くということが、今後の目標であり課題です。

自分達の子育ての時は、仕事をしていますので、今日のような二時とか三時頃にこのような場所にいる

ということは考えられませんでした。ですから、月例祭も仕事帰りに、夕方に子供たちと一緒にお参りするようなことでした。

「月の三日参り」ということも先の先生がみ教え下さっておりますので、子供達を連れてお参りしますと大変喜ばれました。飴を頂いたり、ジュースを頂いたりしていました。

子供達がまた孫を連れてお参りするような真似をしてもらうことができばいいなと思うようなところがございます。

「時間がないときは、電話でもいいから教会にお届けをしなさい」と申しております。

「自分が迷った時、自分が苦しい時、親にも言えない事はたくさんあるだろうから、その時は御結界でお届けをして話を聞かせてもらって行きなさい」と申しております。

お嫁さんや孫へと「三代続いたら・・・」というみ教えがありますようにへ先ずは三代続いてもらいたいな、と思っております。

有り難うございました。(おわり)

# バンド練習会

少年少女全国大会「かがやけ大行進」で演奏のおかけをいただき、金光様に御礼・喜びの真を現わさせていただきました。

また来年の秋は、甘木親教会 布教120年記念大祭です。健康と時間のお繰り合わせをいただいて、ともどもにおかけをこうむらせていただきます！



少年少女全国大会の「かがやけ大行進」も、コロナがいちおう明けましたので、来年こそは、おかけいただきたく思います。

しかし、神様のお繰り合わせをいただき、霊様方の願いを「ッカリ」と受けとめ、信心を進めお役に立つ祈りをもっていかねば、できていくことではありません。

(練習時刻などは追って連絡いたします。)

金光教加治木教会

## あしあと

加治木教会行事記録

11月

- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (土) 清掃御用 10時
- 5 (日) 加治木教会 御大祭 11時
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●月例祭(主神祭、大神様) 10時半
- 18 (土) 大口教会 御大祭 12時
- 19 (日) 鹿児島教会 御大祭 11時
- 20 (月) 研修会(教員長、西本、教務師会)
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭(天徳、乃禮) 13時半
- 併せて 立教記念祭・新穀感謝祭
- 24 (金) 連合会執行部会(鹿児島、教員) 10時半
- 26 (日) 人吉教会御大祭 11時
- 30 (木) 清掃御用 10時

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

「安心いただき

「信用いただく信心に、

おかけを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。

「改まりの願い」は『安武松太郎 教話集 第十集』『私の頂く安武松太郎師』に示されてある信心内容を集約したものです。



十二月三日(日)

甘木親教会 ※出発午前七時半

生神金光大神御大祭

参拝

12月16日(土) 10時半より

少年少女会 屋敷カシラを準備します

三二門松作り

十二月三十日(土) 十三時半より

加治木教会

越年祭 奉仕

越年祭、御礼・お願いの記入用紙をご記入の上、御結界にお届け下さい。

一月一日(祝) 正午より

加治木教会

元日祭 奉仕

「」祭典・教話後、福引。

教会行事

12月

- 1 (金) ●報徳月例祭 10時半
- 3 (日) ●甘木親教会御大祭
- 9 (土) 清掃御用 10時
- 10 (日) ●生神金光大神様 月例祭 10時半
- 10 (日) 御本部布教功労者報徳祭 (参拝は未定)
- 13 (水) 連布教協議会(加治木教会) 10時半
- 16 (土) ★少年少女会三二門松作り 10時半
- 16 (土) 17 (日) 信徒部 教区委員会(熊本県上田)
- 21 (木) 清掃御用 10時
- 22 (金) ●月例祭・共励会 13時半
- 23 (土) 安武文雄大人立日
- 29 (金) ★バンド練習 19時半
- 29 (金) 清掃御用 10時
- 30 (土) ●越年祭 13時半
- ◆1月(?)日 光風館予約日 10時

広前南側壁

シロアリ対策工事

※実施中 少しずつ進められています。

令和六年

1月

- 1 (祝) ●元日祭 正午
- ? ( ) ※光風館予約日 10時
- 3 (水) 甘木親教会年頭参拝
- 6 (土) ★少年少女会「鏡開き」10時半
- 9 (火) 清掃御用 10時
- 10 (祝) ●月例祭・成人感謝祭 10時半
- 20 (土) ★バンド練習 19時半
- 21 (日) 清掃御用 10時
- 22 (月) ●月例祭・共励会 13時半
- 27 (土) ★バンド練習 19時半
- 28 (日) 連合会定期総会(鹿児島教会にて) 10時
- 31 (水) 清掃御用 10時
- 《未定行事》青年会・若婦人会 連合会執行部会(熊本県上田にて) 10時半

